

全会
一致

でこのようなことが決まりました

今期定例会では、原油価格・物価高騰の影響を受けた低所得世帯への支援や所得税または住民税所得割納税者に対する定額減税の実施に伴う調整給付金の計上など、緊急やむを得ない事情により補正を必要とするもので、一般会計で**総額10億9,769万5千円**の補正予算を可決しました。



を補正予算
を可決

令和6年度一般会計補正予算の主な内容

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	10億9,769万5千円	399億3,290万6千円

主な補正内容

◆ 物価高騰対応緊急支援金給付事業 (8,443万3千円)

原油価格・物価高騰の影響を受けた低所得世帯に対し、令和6年度に新たに住民税非課税または均等割のみ課税となる世帯に**1世帯当たり10万円**、18歳以下の子ども**1人当たり5万円**を支給します。

◆ 定額減税調整給付金給付事業 (8億1,438万8千円)

定額減税可能額が、所得税額または個人住民税所得割額を上回る者に対し、その差額を調整給付金として給付します。

◆ ゼロカーボンシティ推進事業 (7,454万8千円)

ゼロカーボンシティ宣言に基づき、脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、省エネ家電への買い換えや省エネ設備等への更新費用を補助します。

定例会で審議した案件

■ 市長提出案件

承認案件	1件
同意案件	4件
条例制定・改正	3件
補正予算	1件
その他	2件
契約の締結	1件

■ 委員会提出

意見書	1件
-----	----

■ 請願・陳情

請願	1件
----	----

たつの市 ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動は、私たちを取り巻く自然環境の大きな課題です。

また、大量の資源エネルギーを消費するライフスタイルから、持続可能な社会への変革を求められています。

たつの市は、山や川、海などの豊かな自然から多くの恵みを授かり、優れた文化や歴史を築き上げてきました。この恵まれた自然環境を将来に引き継いでいくために、市民・事業者の皆さまとともに、持続可能なまちづくりに取り組み、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指し、たつの市は「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和6年6月3日

たつの市長

山本 実

Q 家電の更新費用を補助するということだが、まだ使える家電を処分することによりCO₂が発生するのではないのか。

A 古い家電の処分については、家電リサイクル法に基づいて処分していただき、省エネ達成率100%の家電に買い換えていただくことでCO₂削減につながると考えている。

ゼロカーボンシティ推進事業

補正予算は、予算決算特別委員会の各分科会で審査しています。ここでは、

緑文字 総務生活分科会

橙文字 福祉文教分科会

での主な質疑を掲載しています。

※令和6年6月定例会では経済建設分科会の所管部分はありません。